※令和４年度以降入学生用

学校番号	1301

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	工芸Ⅱ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「工芸Ⅱ」　（日本文教出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・工芸Ⅰで学んだ基礎的な技術、技法を活かしつつ身の周りにあるものについて考え制作することで、道具の扱い方や表現方法について学習します。
・普段何気なく使っている工芸品について理解を深め、「用」と「美」について真剣に考える機会を持ち、制作過程を体験することからたくさんのことを学び感じ取ってほしいと思います。
・いくつかの素材に触れることで様々な技法を学び、それを使って立体・平面作品の制作を行うことで技能や表現についてバランスよく学習します。
・学習の到達度は、授業で配布するワークシートや提出作品で評価します。
・課題の完成に向け、積極的に取り組もうとしているかを授業態度やワークシートで評価します。

2　学習の到達目標

工芸の幅広い活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり工芸を愛好する心情と生活を心豊かにするために工夫する態度を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現や工芸に関する技術などの能力を伸ばし、工芸の伝統と文化についての理解を深めるために次のとおりの目標を目指す。

【知識及び技能】

素材の特性を理解し、用途に合わせた技術、技法を用いて積極的に創造的な工芸の活動に取り組むとともに必要に応じて、道具を使い分け、自分の感性や知識を活かして表現する。

【思考力、判断力、表現力等】

造形的な良さや美しさ、表現とは何か、また、工芸の働きなどについて考えたうえで、自分の価値意識をもって制作に取り組むことができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】

主体的に工芸の幅広い創造活動に取り組み、日常生活と工芸との結びつきを考えるとともに、工芸の伝統と文化に触れることで生活や社会を心豊かにするために工夫できるようになる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・対象や事象を捉える造形的な視点などについて理解しているか。 ・工芸に関する技術、技法を理解し、課題に取り組めているか。	・造形的な良さや美しさ、表現の意図と創意工夫、工芸の働きなどについて考えを深め、工芸や工芸の伝統と文化に対する見方や感じ方を深めているか。 ・創造的な工芸の制作をするために必要な技能を身につけるとともに、扱う材料や用具の特性を活かし、表現方法を工夫しているか。	・工芸や工芸の伝統と文化と豊かに関わり主体的に制作に取り組もうとしているか。 ・工芸的な観点を持って素材と向き合い、創造的活動に意欲的に取り組もうとしているか。

※令和４年度以降入学生用

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
ステージ１	オリエンテーション	授業の決まり 内容説明 教材配布	b:説明を受け、指示通りに教材等に記名し適切に収納できた。 c:授業の決まりや流れを積極的に理解するよう取り組む。		提出ﾌｧｲﾙ	提出ﾌｧｲﾙ
	木材工芸（カトラリー）	素材の特性を知る 刃物の使い方 道具の使い方	a:道具の選び方や特徴を理解し、正しく扱うことができた。 b:自分の感性や知識を活かし、効果的に表現する。 b:自分の作品の内容に沿った表現方法を選択し、作品の効果を高めることができる。 c:木材の特性を理解したうえで、積極的に取り組むことができた。	ﾜｰｸｼｰﾄ 提出作品	ﾜｰｸｼｰﾄ 提出作品	提出作品 観察
	高校展レポート	大阪府内の美術館等で開催される高校展を鑑賞し、感想を述べる	b:美術・工芸作品などの表現の工夫を理解し、そのよさを感じ取り自分のことばで表現することができた。 c:主体的に工芸の伝統と文化と豊かに関わろうとしている。		レポート	レポート
ステージ２	陶芸（小物入れ）	陶芸の技能について学ぶ 作品の意図、表現の工夫を感じ取り味わう。	a:制作方法を理解し、創意工夫して制作している。 b:日本の伝統的な表現のよさを活かして制作の構想を練っている。 b:意図に応じて材料や用具を活用するなど手順や技法を吟味し、創意工夫して制作している。 c:主体的に発想して制作の構想を練ることができている。	ﾜｰｸｼｰﾄ 提出作品 観察	ﾜｰｸｼｰﾄ 提出作品	提出作品 観察

※令和４年度以降入学生用

	バスケタリー	バスケタリーについて 編み工芸の新しい技法を理解する 基本作品の制作 オリジナル作品の計画を立てる オリジナル作品の制作	a:制作方法を理解して作業することができている。 b:自分の感性や知識を活かし、効果的に表現することができている。 c:素材の特性を理解したうえで、積極的に制作に取り組むことができた。	ﾜｰｸｼｰﾄ 提出作品 観察	ﾜｰｸｼｰﾄ 提出作品	レポート 観察
ステージ３	木材工芸（パズル）	電動式糸鋸の使い方 木材を切る、削る パズルの制作	a:木材の特性を理解し、用途に合わせた道具、技法を用いて制作に取り組むことができた。 b:自分の作品の内容に沿った表現方法を選択し、作品の効果を高めることができた。 c:木材の特性を理解したうえで、積極的に取り組むことができた。	ﾜｰｸｼｰﾄ 提出作品	ﾜｰｸｼｰﾄ 提出作品	提出作品 観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度